

文部科学省

免許外教科担任制度の在り方に関する調査研究協力者会議

平成 30 年 3 月 22 日

## 長野県教育委員会の取組

### 1 教員採用選考における大学推薦選考（平成 25 年度～）について

#### (1) 24 年度までの長野県教員採用選考の課題

- ・他県の大学推薦制度による、優秀な人材の流出。
- ・中学校小規模校における、非免許解消加配や免許外教科担任対応の増加。  
非免許解消加配 24 年度：34 件、免許外教科担任対応 24 年度：52 件。  
中学校教諭合格者のうち、技能教科免許を含む中学校複数免許取得者は 12 名。

#### (2) 改善の方策

- ・課題の解消につながる大学推薦選考（小学校教諭、中学校教諭対象）を導入。  
推薦要件…長野県教育委員会が依頼した大学の推薦が必要。  
小学校・中学校のいずれの免許状も有し、中学校免許状は、「国語・社会・数学・理科・英語」の 1 教科以上と「音楽・美術・保体・技術・家庭」の 1 教科以上を有している者。  
選考内容…1 次選考の一般教養、小論文、集団面接を免除し、専門教科のみに。

#### (3) 改善状況

- ・中学校合格者で技能教科免許を含む中学校複数免許取得者（含大学推薦選考）。  
28 年度：21 人、29 年度 20 人、30 年度：21 人。

### 2 長野県の免許外教科担任対応等の現状と長野県教育委員会の取組

#### (1) 長野県の免許外教科担任対応等の現状

非免許解消加配 29 年度：14 件 免許外教科担任対応 29 年度：36 件

#### (2) これまでの取組

- ・複数の学校で兼務ができる計画的な体制づくり。
- ・複数免許を活用する機会がある教員配置と研修の実施。  
副免教科の指導力向上につながる各種研修の実施。  
総合教育センターの研修講座、教育課程研究協議会、郡市単位の同教科研究会等。

#### (3) 今後の方向

- ・信州型コミュニティ・スクールを活用した地域人材等の活用（特別免許状により）。
- ・テレビ会議システムを活用した合同授業。